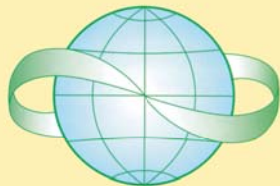


地域のリサイクル情報誌

『ヴィーナス通信』



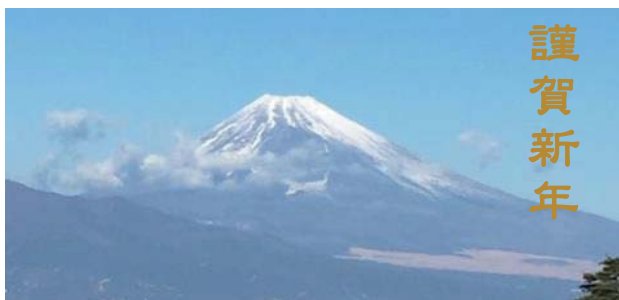
商標登録第 4882482 号

Venous (静脈) Venus (護美の女神)

第87号

(新年号)

発行 東多摩再資源化事業協同組合
理事長 吉浦高志 編集長 紺野琢生
東京都東村山市久米川町 1 - 16 - 18
TEL : 042 - 395 - 9788
FAX : 042 - 395 - 9787



新年あけましておめでとうございます
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます

代表理事 吉浦 高志

まずは、年明け早々に発生した能登半島地震で被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、犠牲になられた方々とご遺族に対し心より哀悼の意を表します。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルスの感染症法上の5類移行により、当たり前の日常が戻りつつある中、長引く円安やウクライナ・中東での海外情勢不安の影響で、日本経済は未だ混とんとした状況にあります。資源業界では、古布や金属類が堅調に推移する中、古紙については、ペーパーレス化による洋紙需要の低迷、板紙についても国内需要は頭打ちとなっています。海外では中国経済の長引く不振、東南アジア各国でのマシンの増設による生産過剰が心配され、板紙も先行きが見通せない状況にあります。発生が減少する中で、古紙は需給バ

ランスが取れてしまっている、金属はないものねだりで価格が高値安定しているのが実態です。但し、円安によって輸出有利な状況を考えると、実勢価格は未だ厳しいとも考えられます。

脱プラスチックが叫ばれている中、紙に置き換わったのは極論ストローくらいで、例えばボックスティッシュなどは逆にプラスチック包装のものが増えているように感じます。軽量化、機能性重視でこうなっているのですが、SDGsの12番目の目標である『つくる責任 つかう責任』を達成するためにも、『つくる』メーカーは、リサイクルの優等生である紙や金属のような素材を選んでもらう、『つかう』市民には、リサイクルしやすい素材で作られたものを選んでもらう、使った後はしっかり分別して『リサイクルする』という本来あるべき好循環に戻していく必要があります。

さて、昨年組合は創立30周年を迎えました。9月に開催した記念安全大会を機に改めてこれから先の『事故ゼロ・災害ゼロ』を目指していくことを宣言しました。昨年末には回収車両すべてにAIドライブレコーダーを取り付け、安全運転管理を徹底しています。市民の皆様の安全を守るためであることは元より、組合の事業を支えてくれているドライバーの皆様と地球環境を守るために、1日1日事故、怪我のない当たり前の毎日を積み重ねて参ります。(吉浦)

●ヴィーナス通信 87号 目次●

- P 1…『新年のご挨拶』 代表理事 吉浦 高志
- P 2…『2023年度機密抹消セミナーより』(一社)機密情報抹消事業協会 代表理事 大久保 薫様
- P 4…東多摩再資協創立30周年記念安全大会、組合全車両にAIドライブレコーダーを搭載
- P 6…リサイクル掲示板『置き配トラブルが増えています』
- P 7…東資協多摩拡大理事会、初任運転者特別講習会を開催、中学生の職場体験学習
- P 8…東京都・東村山市総合防災訓練、こだいら環境フェスティバル、らびっこキャラバン
- P 9…東村山市エコライフフェア、今後のイベント案内、吉浦力夫元相談役を偲んで
- P10…能登半島地震の被災地に義援金を送付、行事・行動、編集後記

リサイクル適性(A)

直言拝聴

『2023 年度機密

抹消セミナーより』

一般社団法人

機密情報抹消事業者協会

代表理事 大久保 薫様



九十年代後半から二〇〇〇年前半にかけ、焼却炉の規制や個人情報保護法などの施行により、機密文書処理を謳う業者は爆発的に増えましたが、実際の処理方法は、ずさんなものから厳密なものまで様々でした。各省庁などから出されるガイドラインにおいても、「機密文書は適正な処理のうえ情報を保護すること」だけ明記されており、その処理方法は曖昧です。平ボディの回収、古紙ヤードへの持ち込み、複数の経由地などセキュリティを無視した手法がある一方、アルミバンに施錠しGPSを使用

した収集などセキュリティに厳格な手法と、その処理方法はピンからキリまでが一括りに機密文書処理とされています。機密文書は紙ではありませんが、排出者にとって大切な「財産」であるにも関わらず、今でも古紙と同様に扱う業者も多くなります。機密文書は古紙ではありません。しかし、適正な機密文書の処理を行えば、古紙として流通が可能です。では適正な処理とはどのようなものか？きちんとした処理業者はどこにいるのか？情報を守り古紙として流通させるにはどうしたらいいか？これらの課題を解決させるために、経済産業省、公財（古紙再生促進センター）の応援をいただいて、一社（機密情報抹消事業者協会（KJMJJK）は、セキュリティ及びリサイクルに配慮した機密情報抹消事業を奨励し、推進することにより、機密情報抹消市場の健全な発展に寄与することを目的とし、二〇一五年に設立しました。ガイドラインの策定や認定制度の確立をおこない、出張裁断処理、定置式破碎処理、直接溶解処理の三つの処理方法、そしてその収集運搬について、機密文書処理とはどうあるべきか

を明示しています。悪しき手法での機密文書処理や焼却処理、オフィスシュレッダーによる可燃ゴミ化をなくし、適正処理を推進したセキュリティとリサイクルを両立させる活動を続けております。

新型コロナウイルスの流行をきっかけに、日本のデジタル化が進み、オフィスから紙類が激減しています。またインボイス制度、令和六年一月から始まる改正電子帳簿保存法など様々な法改正によって、機密文書も紙から電子記録媒体へ大きくシフトすることが予想されます。KJMJJKではこの度、税理士による「改正電子帳簿保存法における対象文書（書類）」と保存方法「ストレージ媒体の製造会社による「データ抹消」と、時代の流れを掴む二大テーマの機密抹消セミナーを開催しました。

電子帳簿保存法とは、国税に関する帳簿や書類（国税関連帳簿書類）を電磁的記録（電子データ）で保存することを認めている法律であり、今まで紙で保存しなければならなかったものを一定の要件を満たして電子で保存できるようにすることです。

電子帳簿保存法は①電子帳簿等保存②スキヤナ保存③電子取引の三つの区分に分かれています。①電子帳簿等保存は、コンピュータなどで電子的に作成した国税関係帳簿書類の電子保存を認めるものです。会計ソフトなどにより作成した「国税関係帳簿」「決算関係書類」「自己発行の取引関係書類」については、一定の要件を満たしたときに電子データ保存できます。②スキヤナ保存は、自己が作成した紙の書類の控や取引先から受け取った紙の請求書などを、一定の要件のもとスキヤン（スマホ・デジタルカメラ含む）し、電子データ保存を認めるものです。③電子取引は、注文書や契約書などの取引情報を紙ベースではなく、電子データで行った場合の電子保存について定めたものです。

今回の法改正により、①電子帳簿等保存②スキヤナ保存は希望者のみの対応となりますが、③電子取引は、全ての法人、個人事業者が対象となりました。メールで受領した契約書のPDFデータやECサイトでの購買時にダウンロードする請求書といった国税関係帳簿書類は、今までは紙で印刷したものを原本と

して保管できましたが、令和六年一月以降電子データで書類を受け取った場合、原則データのまま電子帳簿保存法の要件に則って保存する必要になりました。

この法律により紙の文書を電子データに変換して保存することが奨励されますが、紙の完全な廃止を意味するものではありません。またあれもこれも対応しなきゃと右往左往するものでもなく、まずは電子取引のみを電子保存することのみを始めれば大丈夫です。但し改ざん防止のための措置をとること、「日付・金額・取引先」で検索できるようにすること、ディスプレイやプリンターなどを備え付けること、この三つをしつかり押さえておく必要があります。

改ざん防止措置として、「改ざん防止のための事務処理規程を定めて守る」といったシステム費用をかけない方法もあります。（事務処理規程のサンプルは国税庁HPに掲載有）また「日付・金額・取引先」の検索要件を満たす措置に関しても、表計算ソフトなどで索引簿を作成、表計算機能を使って検索する方法や、データのファイル名に規則性をもって「日付・金額・取引先」を

入力し、特定のフォルダに集約しておくことでフォルダの検索機能が活用できるようにする方法もあります。

このように、令和六年一月から電子取引のみの簡易な対応でスタートできますが、いずれは全事業者が電子帳簿、スキヤナ保存せざるをえない時がきます。さらに国税庁が公表した「税務行政の将来像二〇二三」において、事業者の取引全体のデジタル化、会計・経理全体のデジタル化等を強力に推進することは、政府全体として取り組む重要な課題と位置づけており、事業者のビジネスプロセス全体をデジタル化し、社会全体のDX推進にも貢献するという社会的な意義をもって取り組むとうたっています。世の中は益々デジタル化が進み、紙はこの先の十〜二十年で激減することは逃れることができず、反対にこれら情報を記録（ストレージ）する機能が益々充実していくことでしょう。

パソコン内のストレージ機能として、HDDやSSDがあり、紙の情報の数万倍の情報が保存されています。今は使用するソフトをクラウドで利用するようになり、データをクラウド

内で保存することが益々増え、クラウドを支えるデータセンターの情報は天文学的数字となります。中小・零細企業であってもクラウドサービスを利用する者として、安全な利用と情報をどう守るかが大変重要です。どの業務、どの情報をクラウドで行うかを明確にし、セキュリティのルールを作成した運用を構築し、改ざん・消失に備えたバックアップを含むセキュリティ管理を行う必要があります。紙から電子記録媒体へ情報を保存する媒体が変化する今、まずは自分自身がしっかりと情報を守らねばなりません。

ストレージメーカーは情報を記録させることが主あり、使い終わった後のデータを消去させ安全に廃棄することは視野にいられていません。データの抹消方法は、①クリア（上書消去）②ページ（磁気消去）③デストロイ（破砕）の3つの手法があります。①クリアは、ソフトに別のデータを書き込むことで現状のデータを消すことをいいます。初期化することでデータが消えたという目次を消しただけで、中のデータを消したことはありません。

ません。クリアでデータを抹消することにより、媒体のリユースも可能です。②ページは、強力な磁気を照射させ、データを使えなくさせることです。一瞬で何もなくなってしまうですが、磁気で消すことのできる記録媒体が限られています。また見た目はそのままですが、リユースすることはできません。③デストロイは、破砕（シュレッダー）をすることです。目に見えて粉々になりますが、理論上データはそのまま残っていることとなります。資源物としてのリサイクル、もしくはは産廃処理となります。このようにデータ記録媒体は、媒体の種類や状況、用途に応じた抹消方法が必要になります。

近い将来、紙の情報抹消からデータの情報抹消へ、機密文書処理も変化してきます。KJM JKは関係する皆様と協力し、この大きな変革に対応していき、紙であっても電子記録媒体であっても、安全な利用とその廃棄迄をしつかりサポートし、これからも「安心・安全」な機密抹消を推進させるための活動を続けていきたいと思えます。今後共よろしくお願い致します。

東多摩再資源化協創立三十周年 記念安全大会

東多摩再資源化事業協同組合は、平成五年七月の創立以来、昨年三十周年を迎えました。当初より、十周年や二十周年のようなホテルでの式典形式ではなく、今後十年、二十年と安全・安心な地域のリサイクルシステムを維持していくために、記念安全大会とすること



準備を進めてまいりました。そんな矢先に、創立記念日から一カ月経たない七月二十四日、恐れていた重大事故が起きました。私たちはこの日、この事故のことを絶対忘れない、二度とこのような事故を起こさせないために、緊急業務委員会を開催し、安全大会を『事故ゼロ・災害ゼロ』の総決起大会にするべく改めて心を一つに企画、準備を進めてまいりました。こうして迎えた令和五年九月二

日（金）、東村山市立中央公民館ホールにおいて、創立三十周年記念安全大会を挙行政致しました。当日は、関係五市の市長様、東京都議会議員の皆様、関係五市の担当部長様、課長様を始め、多くのご来賓の皆様、賛助会員、協力団体、報道関係者の皆様をお招きし、組合員とその従業員一五〇名が一堂に会しての開催となりました。福田業務委員長が司会進行を務め、水野青年部長による組合安全行動宣言唱和に始まり、組合三十年の歩みと安全に対する取り組みを紹介した動画を流しました。続いて、当日新型コ

ロナウイルス感染症にて急遽欠席となった吉浦理事長に代わり、私、専務理事の紺野が組合を代表して、挨拶を行いました。ご来賓の皆様へ当日のご臨席と日頃のご厚情への感謝を申し上げた後、従業員の皆様への労いと東多摩再資源化でしか出来ない仕事をこれまで積み重ねてきたことへの感謝、これから先も事故のことを絶対に忘れず安全・安心を日々積み重ねていくことへの誓いを申し上げました。

この後、東京都中小企業団体中央会より組合に感謝状が授与され小畑副理事長が拝受しました。続いて、当日ご臨席頂いた小平市長、小林洋子様、清瀬市副市長瀬谷誠様、東京都議会議員を代表して谷村孝彦様よりご挨拶を頂戴しました。なお、東京都議会からは、渋谷信之様、磯山亮様、浜中のりか様にもご臨席を頂きました。

第二部安全講習会では、『安全作業のための脳と心の最新医学』ストレス対策・アンガーマネジメント・人間関係のメンタル管理』と題し、心療内科医で元NHKアナウンサーの吉田たかよし氏よりご講演を頂きました。資源回収業務にも、リサイクルセンターや古紙問屋での構内作業にも通じるメンタル管理について、脳科学、心



吉田たかよし氏による講演の様子

理分析を元に分かりやすくお話しいただきました。(株)藤本チェーンの藤本哲司社長より謝辞を行い、西東京市の名物かりんとうを記念品としてお渡ししました。

講演終了後、議会閉会后に駆けつけて下さいました東村山市長渡部尚様、東久留米市長富田竜馬様よりご挨拶を頂きました。

その後、全従業員より募集した安全スローガン九十作品から選ばれた優秀作品への表彰式が行われ、最優秀に選ばれた(株)三栄サービスマ村秀昭氏始め五名が表彰されました。

また組合職員の勤続表彰については、発表のみこの場でを行い、後日リサイクルセンターで表彰式を行いました。最後に、古川監事に



勤続表彰を受けられた皆様



安全スローガンの優秀表彰者

より閉会の挨拶をし、安全大会は無事に終了いたしました。これぞ終わりではなく、これからが『事故ゼロ・災害ゼロ』の次の十年の始まりなんだと参加した全員が気持ちを新たにしました次第です。

事故ゼロ安全スローガン入賞作品

◎最優秀賞

慣れた道 うすれてしまふ緊張感
心にいつも赤信号

◎優秀作品

気遣う心 高める意識
繋ぐ安全 紡ぐ笑顔

あわてるな ゆとりのなさが
事故のもと

常日頃 心に唱える「かもしれない」

焦らず急がず ゆとりの心で
安全作業

組合回収車両全109台にAIドライブレコーダーを搭載しました

当組合では、組合員が資源回収に使用するパッカー車、トラックにAIで運転リスクを判定するドライブレコーダーシステムを導入しました。わき見警報、衝撃、車間距離警報のヒヤリハットはドライブレコーダー本体から警告音が鳴り、直ちに動画が会社の管理者に送信されます。また、急加速、急減速、急ハンドル、車間距離不足、わき見、一時停止不停止、速度超過、急後退といったリスク運転はAIがマップ上の交通規制と照らし合わせて動画を保存します。内側カメラで運転手の顔を自動的に認証し、運転手ごとの運転スコアも判定され、運転手本人も自分のリスク運転動画や運転スコアを見ることが出来、安全運転への意識を高めることが出来ます。

取り付けた当初は多かったリスク運転数が、1カ月経過して各社とも確実に減ってきております。組合としては、特にリスクが大きい『一時停止不停止』と『わき見』をまずはゼロにするよう、全組合員が一丸となって取り組んで参ります。



個人の運転スコア



リスク運転動画

リサイクル掲示板

置き配の誤回収防止にご協力下さい

ネットショッピングの普及に伴い、近年宅配物が急激に増加しています。その中で、再配達問題による運転手の負担増加や運送業のドライバー不足、いわゆる2024年問題など、運送を取り巻く課題の対応として、玄関前への宅配物の『置き配』も急増しました。

一方、私たちの回収している古紙・古着も、2014年に東村山市が、2017年に東久留米市、2019年に小平市、西東京市とこの地域ではほとんどが戸別収集化されております。場合によっては、玄関前に資源物を出されることもあり、資源物のすぐ近くに『置き配』の荷物を置かれることで、間違っ

て回収してしまうトラブルが増えております。段ボール古紙の上に、段ボール箱の『置き配』をされることもあり、誤回収して下さいと言わんばかりの配達も多いと聞いています。

荷物によっては、個人情報保護の観点から荷札に住所や名前の記載がない配達物も増えており、この箱や袋が資源物なのか『置き配』なのか判断に困るケースも多いようです。皆さまがネットショッピングで注文した大切な配達物が間違っ

①まぎらわしい『置き配』の例

右の写真は、資源物のすぐ近くに『置き配』が置かれた例です。

誤回収を防ぐため、市民の皆様がご在宅の場合、回収員がインターホンを押して『置き配』かどうか確認をさせて頂く場合があります。



②雨の日に軒下に資源物を出される市民の皆様へ

濡れないようにお気遣い頂いて雨の日に道路際ではなくて軒下などに資源物を出される方もいらっしゃいます。

古着は濡れてしまうと資源にならず焼却処分されますので、次回に出して欲しいのですが、古紙は多少ぬれても問題ありませんので、雨の日は古紙のみをいつもと同じ場所に出して下さい。

③『置き配』だと思って回収しないで置いてきてしまうことも!

宅配物の段ボールや、紙袋をきれいに再利用して雑がみ等を入れて出されるケースもあります。配達物のように封をして出されていると、回収員が『置き配』だと勘違いして回収せずに置いてきてしまいます。

段ボール箱は潰して出して頂くことと、右の写真のように紙袋は封をしないで出して頂くようお願い申し上げます。



④配達業者の皆様へお願い!

いつも配達お疲れ様です。ありがとうございます。一日のうちに大量の宅配物を届けなければならないご苦勞はお察し申し上げますが、誤回収によるトラブル、破損した場合の弁償、謝罪で回収業者は本当に困っています。

くれぐれも、資源物の上や近くにお客さまの大切な荷物を置かないようお願い申し上げます。



東資協が多摩拡大理事会を開催

令和五年十一月十日に東資協が四年ぶりに「ホテルエミシア東京立川」にて多摩拡大理事会を開催しました。コロナが収まりを見せ始め、実に四年ぶりの多摩地域での理事会の開催となりました。以前は八王子支部や東多摩支部が持ち回りのように主催していましたが、今回は八王子支部、日野・多摩支部、西多摩支部、東多摩支部の四支部共催としての開催となりました。



以前のような組合活動が戻ってきている嬉しさや、久々に会う組合員の皆様との宴に楽しい夜を過ごすことができました。(福田)

初任運転者特別講習会を開催

当組合では、組合員各社の資源回収運転者選任前の初任運転者特別講習会を十月三十日、十一月二十九日に開催しました。

受講者は、直近に入社した十名で、事前に初任運転適性診断を受診してもらいました。講習会では、『TEAM東多摩』の一員としての基本的な心得について説明した後、組合内の八名の運行管理者有資格者が務め、「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針」に従って、関連する十一項目の座学五時間と、実車を用いた安全運転指導一時間を行いました。

組合で行った六時間の初任講習会の他、各社において座学及び実車を用いた指導(助手として乗務しながらの指導)九時間以上、添乗指導(責任者が助手席に同乗しての運転指導)を二十時間以上の計三五時間以上の初任運転指導教育を受けた者が初めて資源回収の運転手として選任されます。安全な地域のリサイクルを実現するため、「事故ゼロ」を目指して、今後も定期的に初任運転者特別講習会を実施して参ります。(TKO)



中学生の職場体験学習を

四年ぶりに受け入れました

昨年九月七日、令和元年以来、新型コロナウイルス感染症対策で中止されていた職場体験学習が再開され、東村山市立東村山第五中学校二年生の生徒、総勢十二名を受け入れさせていただきました。朝礼で、挨拶、声掛け、車両の乗り降り時の確認作業の大切さを伝え、運行前点検を行いました。トラックの運転席に乗車してもらい、死角の位置に人員を配置し、運転席から見えていない個所を体験し理解してもらいました。

私の助手にいた生徒は大変です。常に質問を繰り返し投げかけられます。彼らは移動中も気が休まりません。トラックが乗用車に比べて、上下に揺れる理由は？マンホールが丸い理由は？道路に描かれたひし形の意味は？信号機の赤は左？右？間違えて構わないので時間を置かず回答させます。考える、答えてみるのが大切なのです。

この作業を行うことで、仕事に気軽に声掛けが出来るようになるのです。こう思うのですが合っていますか？このやり方でもいいですか？このやり取りができれば自己流に作業を行い事故が起こる

のだとおもいます。コミュニケーション不足がもたらすリスクを減らす大切な時間です。午前中が終わり、お昼休憩をしていたら、先生が見学に来てくださいました。翌日の、リサイクル教室、紙すき体験があることをお知らせしたところ、翌日の台風を考慮し、市から中止の連絡を受けたので一日で終了とのことでした。楽しみにしていた生徒の皆さんからの残念がる声上がり、開催してあげたかったなと肩を落としました。

ごみの分別や、リサイクルをやっている生徒さんは沢山いました。が、出し方によって、回収業者の作業が困難になること、回収された古紙がどのような処理が行われているか知らなかったようでした。職場体験学習に参加したことで、リサイクルへの興味が深まり、将来職を考えたときにほんの少しでも今回のことを思い出してもらえたら幸いです。(水野)



リサイクルへの興味が深まり、将来職を考えたときにほんの少しでも今回のことを思い出してもらえたら幸いです。(水野)

**各市でリサイクルイベント
が開催されました**

◎東京都東村山市合同総合防災訓練



自衛隊、警察、消防署、消防団、民間事業者などが連携した本格的な訓練の様子

令和五年九月三日(日)、東村山市天王森公園及び北庁舎内にて、合同総合防災訓練のイベントに参加しました。初めての防災訓練のイベントのお手伝いという事もあり、少し早めに公園へ向かって行きました。着いた直後に目の前に大きな消防車や消防隊員の方々がいらっしやあって何かあったのかな?位の衝撃を受けました。二、三秒たつてからこれが防災訓練なの?と思う位に、消防車、自衛隊車、ヘリコプター、災害用の大手三社の携帯用通信ネットワークカーなど普段目にする事は無い様な



組合ブースでは、組合の支援活動や災害時支援協定の紹介、市民アンケートを実施しました

光景ばかりでした。又、参加型の訓練という事もあり市民の方々の意識も高く、色々な場所に人混みが出来ている場面も見受けられ、来年は私も一市民として行ってみたいと思いました。そして私達再資協はテントの中で市民の方へ声を掛けながら、資源の出し方に関する簡単なアンケートをお願いしました。少し前と違ってこれは可燃で捨てていたと思っていた品物が、今は古布で出せる様になっていたなんて驚いた方もいらっしやったり、興味を持ってくださったりしてアンケートの声掛けは大変ですが、少しでも資源の再生に御協力して頂ければ嬉しいかなあとと思いつつ短い時間の中で防災の大切さ、再資源の大切さを心に込めつつ帰路に着きました。(小野塚)

◎こだいら環境フェスティバル

九月九日(土)、小平市中央公園にて、表記のイベントが開催されました。日本管財環境サービス・東多摩再資協JVのブースとして、びんを出す際に袋に入れるのではなくカゴで出すことを推奨するPRと、注射針などの危険物混入防止のお願い、小物雑貨類の無料回収を行いました。

小平市リサイクルセンターでは、びんの袋の破袋作業は、生きびんや不純物を事前に取り出すため、手作業で行っていますが、かなりの重労働であり、また危険も伴う作業です。また、袋ではなくカゴで出して頂いた場合、不純物の混入も少なくなります。このため、



組合職員の説明を市民の皆様が熱心に聞いてくださいました。

市もホームページ等でカゴ出しを推奨しています。また、注射針による受傷事故も発生していることから、危険物の混入防止についても併せて実際の展示物とチラシで市民の皆様にPRしました。ご存じない方も多かつたようですので、これを機にカゴ出しが普及し、また有害物の混入が減ることを期待しています。(TKO)

◎らびっこきやらばん
キッズ商店街(東村山市)

十月二九日にエネックスさんの駐車場で開催されたらびっこきやらばんキッズ商店街のイベントに、父から手伝って欲しいと言われて初めて参加しました。わたしは、子どもたちの紙漉き体験を手伝いました。紙漉きは初めてでしたが、父に教わりながらやってみました。

お客さんで来てくれた小さい子どもたちがかわいくて、楽しく過ごすことが出来ました。(ヒ)



牛乳パックの紙漉きで作ったはがきに絵を描いている子どもたち

◎東村山市エコライフフェア

去る二〇二三年十一月二六日(日)、東村山市の秋水園にて開催されたエコライフフェアに参加させていただきました。四年ぶりの秋水園での開催となった今回のテーマは「SDG」。かけ声よりもまず実行 地球のために何か一つで、東多摩再資源化協同組合では十二番目の目標の「つくる責任 つかう責任」の達成のため、資源物の分別ゲーム小物雑貨類の無料回収を行いました。

資源物の分別ゲームでは親子で資源物と禁忌品(リサイクル出来ないもの)のサンプルを分けてもらい何故それがリサイクル出来ないものなのかを説明し、ご家庭でのRecycle(資源として利用す



寒い中、多くの市民が組合ブースを訪ねて頂きました。

る)の意識を高めてもらえたいと思います。小物雑貨類の回収では、ご家庭に眠っているけどまだ使えるけど不要な物を無料で回収しRecycle(ごみになる物を減らす)に使いたい人に使ってもらうReason(まだ使える物を繰り返し使う)をし小さい事の積み重ねです。が地球のためにゴミを減らすという事を市民一人一人に意識してもらえたいと思います。(廣住)

イベントのお知らせ

- 2月13日(火)13:30~
小平市リサイクルきやらばん
@いなげや小平小川橋店
- 2月24日(土)13:30~
市民ごみ大学セミナー
@小金井市民会館3階
萌え木ホール
※当組合紺野専務理事が講師を務めます。

故 吉浦 力夫 元相談役を偲んで



令和五年十二月二日、吉浦力夫元相談役の訃報を受けました。コロナ禍で見舞いもできず、年明けには百寿を迎えられるお祝いにと思っていた矢先のことです。残念でなりません。

吉浦先輩とは、昭和五七年から六一年まで東資協田無支部の第一・第二支部長を共に務めさせて頂きました。商売上の対立で支部が二分した暗黒の時代でした。

しかし、何とかしなければと二人で何度も密会し、新たに東多摩支部を立ち上げ仲直りをした経緯を今鮮明に思い出しました。その後地域組合「東多摩再資源化事業協同組合」の設立そして運営に対しても多大なご尽力を頂き、組合の発展に貢献して頂きました。

吉浦力夫氏は長崎県出身で、長崎三菱製作所に勤めていた時に原爆が投下され、会社も社員寮も跡形もなく壊滅したそうです。その前日に体調を崩し偶然にも遠くの病院に行つて診察中だったと、神仏の加護の有難さを言葉静かに話しておられました。

その後ご家族と共に上京し大変なご苦勞をされて、久米川駅前に「資源回収問屋久米川紙業」を設立されたと聞きました。今、ご子息高志氏は、貴兄の意思を継いで会社業績も拡大し、当組合の理事長を務めています。また東資協理事長・関資連会長も歴任し、現在は東リ協会や日資連理事として活躍しています。

長い間、沢山のご教示やご指導を賜り本当にありがとうございます。安らかに永眠下さいませ。様衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合掌 顧問 紺野武郎

令和六年能登半島地震の被災地に義援金を送付

令和六年の元日に発生した能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

東多摩再資協では、まずは日本赤十字社を通じて被災地に義援金を送付することを決定しました。状況を見ながらですが、被災地にも赴いてご支援出来ることがあれば協力させて頂きたいと考えております。

まずは、行方不明の方々の一刻も早い発見と、避難生活を余儀なくされている方々の生活が戻りますことをご祈念申し上げます。

行事・行動

【九月】

- 三日：東京都・東村山市合同防災訓練
- 四日：小平RC責任者会議
- 八日：東資協理事会
- 九日：小平市環境フェスティバル
- 十一日：小平RC関連JV会議
 - ：財務委員会
 - ：定例理事会
- 十二日：東リ協合理事会
- 十三日：組合運行管理者会議
- 十六日：日資連理事会
- 十九日：業務・集団回収委員会
- 二十二日：組合創立三十周年記念安全大会

【十一月】

- 六日：共同受注検査(東村山市)
 - ：小平RC責任者会議
- 九日：組合運行管理者会議
- 十日：小平RC関連JV会議
 - ：東資協多摩拡大理事会
 - ：定例理事会
- 十四日：東リ協合理事会
- 十五日：財務委員会
- 十八日：日資連理事会
- 二十四日：西東京市廃棄物減量審

【十月】

- 三日：小平RC責任者会議
 - ：業務委員会
- 十日：小平RC関連JV会議
- 十二日：紙リサイクルセミナー
- 十三日：東資協理事会
- 十六日：定例理事会
- 十七日：小平市リサイクルきゃらばん
- 二十三日：共同受注検査(東村山市)
 - ：業務・集団回収委員会
- 二十四日：共同受注検査(西東京市)
 - ：共同受注検査(東村山市)
- 二十五日：共同受注検査(東村山市)
 - ：東村山市RF実行委員会
- 二十六日：西東京市廃棄物減量審
- 二十九日：らびっこキャラバン
- 三十日：初任運転者特別講習会

【十二月】

- 六日：東村山市RF実行委員会
 - ：財務委員会
 - ：小平RC責任者会議
 - 八日：東資協理事会
 - 十一日：小平RC関連JV会議
 - 十二日：小平市リサイクルきゃらばん
 - ：東リ協合理事会
 - 十三日：定例理事会
 - 十四日：東京都知事予算要望
 - 十五日：小平市廃棄物減量審
 - ：小平RC忘年会
 - 十八日：AIDドライブレコーダー研修会
 - ：業務・集団回収委員会
 - 十九日：共同受注検査(西東京市)
 - 二十二日：資源リサイクル推進議連総会
 - 二十八日：臨時業務委員会
 - 二十九日：令和五年仕事納め
- 【令和六年一月】
- 四日：令和六年仕事始め
 - ：小平市長表敬訪問
 - ：各市挨拶回り
 - 五日：小平RC責任者会議
 - 十二日：東資協理事会
 - 十五日：小平RC関連JV会議
 - 十七日：定例理事会
 - 二十日：日資連理事会

編集後記

直言拝聴をご寄稿頂いた大久保様、ありがとうございます。機密文書の溶解処理業務は当組合でも受託しておりますが、今後はデジタルデータの抹消やその後の再利用、再資源化についても業務として取り込んでいかななくてはと再認識致しました。

さて、年明け早々から能登半島地震、羽田空港での航空事故と痛ましい自然災害、事故が続きました。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。羽田の事故は、管制官と航空機との単純な連携ミスではなかったかと思えます。それがこのような大きな事故につながってしまうことに、私たちが日常業務において改めて気を付けていきたいと感じました。組合では、昨年十二月からAIDドライブレコーダーの運用を開始し、安全運転管理を行っておりますが、最終的には管理者と運転者の連携相が肝要だと切に感じています。

(TKO)